

<2014 年 12 月：今月の注目企業>（北陸経済連合会からのご紹介）

○ 澁谷工業株式会社

- ・設 立：1949 年（昭和 24 年）
- ・資本金：113 億 9,201 万円（平成 26 年 6 月 30 日現在）
- ・代 表：取締役社長 澁谷 弘利
- ・事業内容：ボトリングシステムのトップメーカーで、製函包装、物流搬送、製薬設備、再生医療、洗浄設備、半導体製造等、各種システム開発、および医療機器の製作並びに販売
- ・特筆事項：
 - 2014 年 5 月 NEDO プロジェクトの委託企業のひとつに採択
「再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発」
 - 2014 年 6 月再生医療システムの専用工場完成

<紹介内容> 再生医療システム（細胞培養・調製システム）

<注目点>

ペットボトル飲料の自動生産ラインや、医薬品の自動生産ラインで培った GMP 省令(*)に対応した無菌充填技術を組合せ、再生医療分野のニーズに合わせ、GCTP 省令(*)に対応可能な細胞培養・細胞調製のシステムを開発した。

(*) GMP 省令：「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令」
(平成 16 年厚生労働省令第 179 号)

(*) GCTP 省令：「再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令」
(平成 26 年厚生労働省令第 93 号)

バリデータブルな無菌化技術およびアイソレータ技術、さらに洗浄滅菌・充填・包装工程の自動化技術を活用し、下記の iPS 細胞、幹細胞などの培養システムや、バイオ 3D プリンター等をニーズに合わせカスタマイズする。

<構成製品>

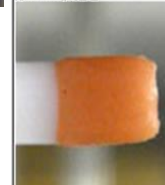
- ・ロボット細胞培養システム “CellPRO”
細胞の培地交換・継代作業・プラグ作成など、細胞の培養加工工程一連を自動的に
に行う双腕ロボットシステム。

汚染源であるヒトを完全隔離し、過酸化水素蒸気による除染可能な双腕ロボットを搭載する事で、品質安定化、省人・省力化を図り、大量培養への対応を可能にした。



対象細胞	脂肪由来幹細胞 接着系細胞
培養容器	150mmディッシュ 96ウェルプレート
細胞操作	培地交換・継代 細胞観察 分注 移植プラグ作製

加工製品



ウサギ脂肪由来幹細胞から製作したプラグ

- ・バイオ 3D プリンター “Regenova”

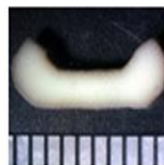
細胞の足場となる材料を使うことなく、細胞の塊スフェロイドを剣山状の針にプログラム通りに積み合わせていく装置。

細胞を扱う 3D プリンターとして
は、世界最先端の装置であり、様々な細胞腫に適用可能で、再生臓器研究や創薬研究に幅広い活用が可能。



対象細胞	脂肪由来幹細胞 線維芽細胞 内皮細胞 平滑筋細胞 肝細胞 など
培養容器	96ウェルプレート

加工製品



線維芽細胞と内皮細胞の血管状構造体
(左)
ウシ軟骨細胞の半月板状構造体(右)

<連絡先>

再生医療システム本部 営業部

〒920-0177 石川県金沢市北陽台2-1 TEL 076-257-8915 FAX 076-257-8919

e-mail: rm-info@shibuya.co.jp URL: <http://www.shibuya.co.jp/>